

# 首都圏

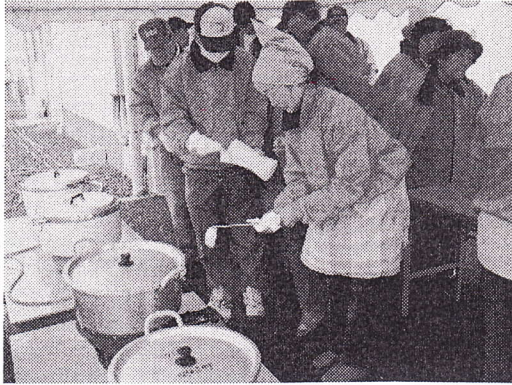
◇ 本 社 ◇  
 東京都千代田区  
 東本郷2-4-10  
 共同ビル(岩本町2丁目)  
 ☎03(5833)8840  
 Fax 03(5833)8841

JOMOプロ関東(本社・前橋市、鷲尾治彦社長)を通じて災害対応バルクを導入した前橋市の関根町公民館で14日、自治会主催の防災訓練が行われた。

あいにくの雨模様だったが、早朝から集まった200人あまりの町民らは、炊き出しや地元消防署の協力を得て消火器の取り扱いなどを体験した。国の「災害対応バルク補助」を活用した今回の事例は、全国唯一の公民館設置。設備を中心に住民、企業、行政の新たな協力関係が築かれつつあり、新年度以降のモデルケースとして注目される。

## 炎対バルクで防災訓練

### JOMOプロ関東 自治会員ら200人と

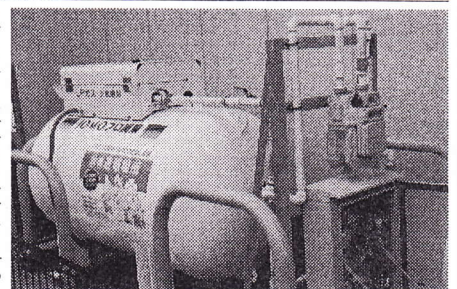


炎対バルクは、炊き出し時などにガスが利用しやすいう貯槽側面にガスケットを備えている。

補助制度を利用した今回は、制度の規定に沿って、鋳物こんろと5升炊き炊飯器も導入した。

住民らの手でバルクを使った炊き出しを準備

昨年12月26日に、30(ワンダー)1基の設置を完了。今回の訓練に備え、



08年度は関根町公民館のほか2カ所のデイケアサービス施設にも設置した

取り扱いの練習を重ねてきた。その甲斐あって当日は、JOMO関東社員の助言を受けながらもホースの取り付けから着火・炊き上げまでを自治会員らの手で行った。

隣近所の関係が希薄になるなか、バルク設備を所が適用外であり、公民館の多くがそれに該当したため設置事例は全国で関根町のみ。指定避難場所が設置対象に含まれることになった09年度は、災害対応バルクを中心とした地域活性化事例が各地に広がるのが期待される。

流拠点として2004年2月に竣工した同公民館には、江戸時代から終戦まで地域で使っていたという「半鐘」が保存してある。火災や洪水の危険を住民に知らせていた小型の釣鐘で、高橋功・同町自治会長は「昔は鐘の合図で一一致団結した」と当時を振り返る。

08年度までの同制度は地方公共団体指定の避難所が適用外であり、公民館の多くがそれに該当したため設置事例は全国で関根町のみ。指定避難場所が設置対象に含まれることになった09年度は、災害対応バルクを中心とした地域活性化事例が各地に広がるのが期待される。